

商工会地域の業況は、依然として厳しい状況。先行きに回復の兆しも見えるが回復にはほど遠い！

—2020年7月～9期 中小企業景況調査報告書概要—

日銀が10月1日に発表した9月の企業短期経済観測調査（短観）によると、企業の景況感を示す業況判断指数（D・I）は、大企業・製造業がマイナス27となり、前回調査より7ポイント上昇した。改善は2017年12月以来2年9ヶ月ぶりのことである。2018年以降、米中貿易摩擦などにより悪化傾向をたどり、2020年に入ると新型コロナウイルスの感染拡大で一段と落ち込んだが、停滞していた経済活動が再開に向かい少し景況感が上向いた。大企業・非製造業はマイナス12で、前回と比べて5ポイント上昇した。改善は、1年3ヶ月ぶりのことである。外出自粛が解除され、宿泊・飲食サービス、対個人サービスなどが改善してきている。中小企業の業況判断指数は、製造業が前回調査から1ポイント上昇しマイナス44、非製造業も前回のマイナス26から4ポイント上昇し、マイナス22となった。製造業の改善は、大企業・製造業と同じく2年9ヶ月ぶりとなる。

3か月後の先行きの見通し（2020年12月予測）は、大企業・製造業が今期より10ポイント改善しマイナス17、非製造業は1ポイント改善しマイナス11と改善が見込まれているが、どちらもマイナス圏にとどまっており回復ペースは緩慢になりそうである。中小企業では製造業が今期よりも6ポイント改善しマイナス38と予測されるが、非製造業は5ポイント悪化しマイナス27を予測。大企業に比べると中小企業では先行きに対して慎重な見方をしている。内閣府が2020年9月24日に発表した9月の月例経済報告においては、国内景気は「新型コロナウイルス感染症の影響により、依然と

して厳しい状況にあるが、このところ持ち直しの動きがみられる。」との判断を維持した。7月に引き上げた判断を3ヶ月維持している。新型コロナウイルスに伴う緊急事態宣言が出されていた4月～5月に景気が底を打ったとみているが、7月～8月も新型コロナウイルスの感染が再拡大し、旅行や外食などサービスを中心に個人消費が足踏みした。反面、外需の回復は当初の想定より早く進んでいる。

商工会地域の景況調査においては、今期（2020年7月～9月）の業況に関するD・I値は、製造業が前期のマイナス53.0から7.0ポイント悪化しマイナス60.0。建設業はマイナス44.0から12.0ポイント改善しマイナス32.0。小売業はマイナス47.3から5.4ポイント悪化してマイナス52.7。サービス業はマイナス79.7から12.2ポイント改善しマイナス67.5となっている。製造業と小売業が悪化、建設業とサービス業は改善しており、業種により明暗が分かれている。また、建設業以外は、マイナス50を超えるD・I値となっており、依然として景況感の厳しさが表れている。

来期（2020年10月～12月期）の業況予測については、製造業が今期実績より6.8ポイント改善しマイナス53.2、小売業が1.2ポイント改善しマイナス51.5、サービス業も14.2ポイント改善しマイナス53.3を予測しているが、いずれもマイナス50を超えており、来期も厳しい状況は続く。今期マイナス32.0と他よりも良かった建設業は13.9ポイント悪化しマイナス45.9と予測しており、回復基調が継続することなく、こちらも厳しい状況は続くと思われる。

業界天気動向図

（中小企業診断士 橋本大輔）

項目 業種	売上				採算（経常利益）				資金繰り			
	2019	2020			2019	2020			2019	2020		
	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月
製造業												
建設業												
小売業												
サービス業												

各項目については次により表示した。

区分	増加	やや増加	横ばい	やや減少	減少	大幅に減少
	好転	やや好転		やや悪化	悪化	非常に悪化
D I 値（前年同期比）	20.1～	5.1～20.0	5.0～△5.0	△5.1～△20.0	△20.1～△35.0	△35.1～
表示	快晴	晴れ	曇り	小雨	雨	豪雨

今期直面している経営上の問題点

（数値の左は前期構成比、右は当期構成比を記す）

業種	1位	2位	3位	4位
製造業	1位にあげる問題点 需要の停滞	生産設備の不足・老朽化	製品ニーズの変化	原材料の不足、その他
前期	34.3	22.9	2.9	--
今期	40.0	14.3	11.4	8.6
建設業	1位にあげる問題点 民間需要の停滞	2位 従業員の確保難、官公需要の停滞、	4位 人件費の増加、材料費、人件費以外の経費の増加、熟練技術者の確保難	
前期	13.6	13.6	13.6	--
今期	18.2	--	--	9.1
小売業	1位にあげる問題点 需要の停滞	2位 大型店・中型店の進出による競争の激化、消費者ニーズの変化	4位 購買力の他地域への流出、店舗の狭隘・老朽化、その他	
前期	13.2	--	--	--
今期	17.9	--	12.8	10.3
サービス業	1位にあげる問題点 需要の停滞	2位 その他	3位 利用者ニーズの変化	4位 店舗施設の狭隘・老朽化
前期	26.1	28.3	17.4	10.9
今期	42.6	21.3	12.8	8.5
				4.3
				6.4